

# 地域医療連携室だより

148号



## トピックス

- 新年のご挨拶
- にしく赤・坂ネット
- 健康だより
- 防災訓練を実施しました～トリアージ訓練～
- ボランティア懇親会を開催しました

新年あけましておめでとうございます  
地域医療連携室だよりは、病院の情報や取り組みなどを地域の医療機関へ情報発信しております。

148号は、平成28年12月14日、「にしく赤・坂ネット」立ち上げ記事を掲載しております。これからも豊富な情報を発信していきたいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

## 基本理念

病める人の権利と心情を重んじ信頼される医療を行います。

## 基本方針

- ・安全で質の高い医療を提供します。
- ・次世代の医療を担う人材の育成に努め、時代の変化に対応できる中核病院としての役割を果たします。
- ・地域包括ケアシステムを推進する取組みを進め、地域の医療、保健、福祉の向上に貢献します。
- ・患者さんに喜ばれ、誇りをもって働くことのできる病院づくりに努めます。

信楽園病院広報誌 地域医療連携室だより148号

発行日 平成29年1月1日  
編集 社会福祉法人 新潟市社会事業協会  
信楽園病院 地域医療連携室

〒950-2087 新潟市西区新通南3-3-11  
TEL025-260-8101 FAX025-260-8102

[Http://www.shinrakuen.com](http://www.shinrakuen.com)



## 新年のご挨拶

信楽園病院 院長 宮崎 滋

新年あけましておめでとうございます。皆様、いかがお過ごしでしょうか。


平成 26 年 4 月に院長に就任してから 2 年 8 ヶ月が経ちました。最近 1 年の当院での出来事を報告することで地域医療連携室だよりにしたいと思います。平成 28 年 4 月から基幹型臨床研修病院として独自に募集した研修医を 1 名迎えることができました。協力型として新潟大学医歯学総合病院から 1 名、新潟医療センターから 2 名も迎えることになり、7 階の 1 室を研修医室として整備しました。平成 29 年度の初期研修医は 4 名となるので、更に若い研修医が増えることに職員一同期待しております。

話題を変えて地域医療構想の話です。これは人口が減少し団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年に向け、患者さんの状態に応じた質の高い医療を効率的に提供する体制を確保するのが目的とされています。この目的を遂行するため、医療法に基づき都道府県が策定し、医療計画の一部として位置付けるものです。新潟構想区域の 2025 年度必要病床数は、高度急性期 800 床、急性期 2500 床、回復期 2300 床、慢性期 2100 床と想定され、総病床数にして 1800 床減の 7700 床と予想されています。信楽園病院は 2014 年の病床機能報告では（高度急性期病床も一部ありますが）325 床すべて急性期病床として報告しました。さて、それでは信楽園病院はどのような病床機能を持った病院を目指せばよいのでしょうか。

昨年、10 月に病院の基本理念、基本方針、患者さんの権利・責務について再整理を行いました。『病める人の権利と心情を重んじ信頼される医療を行います』という基本理念を一つの大きな柱とし、4 つの基本方針を立てました。まずは、この新たな基本理念・方針に基づいて病院運営を行っていかうと考えております。

病院は西区の西側に位置しています。近隣には慢性期病床の病院が複数あり、介護施設が多く控えています。その中には関連施設もあり、連携を図り地域に貢献しております。また昨年 12 月には病院を中心とした圏域に開業医の先生方と訪問看護、地域包括支援センターの方々と協力し在宅医療ネットワーク「にしく赤・坂ネット」を立ち上げました。地域包括ケア病棟を持つ病院として、西区、西蒲区の病院、介護施設、開業医院の先生方と連携し、急性期から在宅まで地域の急性期病院としての役割を果たすことが使命であると考えます。以上のように、病院の果たすべき使命や現在、病院が持つ機能、さらには地理的条件など諸条件を勘案すると、今後も急性期病院として生き残っていくのが良いのではないかと考えています。

信楽園病院は昨年、移転 10 年を迎えました。これからも地域住民の方々、医療機関の先生方、連携する多職種の方々から信頼される病院造りに励んでいかうと職員一同考えております。本年も何卒よろしくお願いいたします。



# にしく赤・坂ネット

平成 28 年 12 月 14 日に在宅医療ネットワークを立ち上げました。

名称は「にしく赤・坂ネット」です。新潟市西区の西側、赤塚・坂井輪圏域  
周辺からこの名前を付けました。

ネットワークの目的は

1. この地域において、誰もが住みなれた地域で暮らせるよう、在宅医療の充実を推進するため多職種での協力体制を構築することを目指す
2. 医療介護が提供される住民の視点を大切に、医療・介護連携における課題解決に取り組む

です。

2025 年、これから迎える超高齢社会に向けて、医療・介護の分野で山積みする課題、想定される危惧に対して、「課題の抽出と問題解決」の実践的、実効的なネットワークを目指しています。この地域で住民が安心して生活できるように、一人でも多くの先生に参加して頂き、在宅医療の問題解決に取り組んでいきたいと思ひます。

今後の予定としては偶数月の第 2 水曜日 19 時より信楽園病院 2 階会議室にて運営委員会を予定しています。ぜひご参加ください。

# 健康だより

～お酒をいつまでも楽しむために～

平成 29 年 1 月

皆さんは、自分の飲んでいるお酒の量は、適量だと思いますか？適量の飲酒によりHDL コレステロール（善玉）が増加するという研究結果もありますが、飲みすぎは生活習慣病、がんなどの病気にもつながりますので、注意が必要です。今回は、下の表を使って、ご自分の飲酒について客観的に評価してみましょう。

1. あなたはアルコール含有飲料(お酒)をどのくらいの頻度で飲みますか？ 0. 飲まない 1. 1ヶ月に1度以下 2. 1ヶ月に2～4度 3. 週に2～3度 4. 週に4度以上
2. 飲酒するときには通常どのくらいの量を飲みますか？ ※ドリンクは純アルコール換算の単位です。 1ドリンク：ビール中ビン半分(250ml) 日本酒0.5合 焼酎(25度)50ml 酎ハイ(7%)350ml1/2本 ワイン(12%)100ml 0. 0～2ドリンク 1. 3～4ドリンク 2. 5～6ドリンク 3. 7～9ドリンク 4. 10ドリンク以上
3. 1度に6ドリンク以上飲酒することがどのくらいの頻度でありますか？ 0. ない 1. 月に1度未満 2. 月に1度 3. 週に1度 4. 毎日あるいはほとんど毎日

点数計算 上記の1, 2, 3の各回答の数字を合計します ( 点)

男性 4 点以下、女性 3 点以下→今のままお酒と上手にお付き合いをしていきましょう。  
男性 5 点以上、女性 4 点以上→お酒の飲み方を見直した方がよさそうです。  
新年の抱負に『飲酒量を減らす、休肝日を設ける』のはいかがでしょうか？



## 呑兵衛ランキング

あなたの1日の飲酒量は、同じ年代100人中何位にランクインしているでしょうか？

性別	女性			男性		
	20～39歳	40～59歳	60～74歳	20～39歳	40～59歳	60～74歳
上位3位	7ドリンク	4ドリンク	2ドリンク	14ドリンク	12ドリンク	8ドリンク
5位	6ドリンク	3ドリンク	2ドリンク	13ドリンク	9ドリンク	7ドリンク
10位	4ドリンク	2ドリンク	1ドリンク	9ドリンク	7ドリンク	6ドリンク
20位	2ドリンク	1ドリンク	1ドリンク	6ドリンク	6ドリンク	4ドリンク
30位	2ドリンク	1ドリンク	0ドリンク	4ドリンク	4ドリンク	4ドリンク

### 飲酒量の目安

節度ある適度な飲酒  
(第一次健康日本21)

男性:5% ビール 500ml 1本  
女性:4% 発泡酒 350ml 1本

生活習慣病のリスクを高める飲酒  
(第二次健康日本21)

男性:5% ビール 500ml 2本  
女性:5% ビール 500ml 1本



※ちなみにすぐに赤くなる人は、消化管のがんのリスクが高いと言われています。

保健師 梨本 潤子



# 防災訓練を実施しました ～トリアージ訓練～

管理係

11月30日（水）、平成28年度2回目の防災訓練を実施しました。

今回は、大地震が発生した後、多数の傷病者が病院にやって来たという想定でトリアージ訓練を実施しました。トリアージとは、傷病者を重症度、緊急度によって分類し、治療や搬送の優先順位を決めることで、大規模災害発生時には大変重要となります。

なお、分類結果は‘トリアージタグ’という札に診察した医師、聞き取りを行った看護師・事務職員が必要事項を書き込み、多職種が関わり作成して傷病者の体に付けて申し送ります。

病院の正面玄関前で医師による最初のトリアージを行った後、‘トリアージタグ’を付けられた患者は院内に運ばれ、2回目のトリアージを受けます。そこで治療等の方針が決まり、治療を受けた患者は状態により帰宅、又は入院となります。

最近、九州や山陰そして再び東北で大きな地震が起きていることもあり、30余名の参加者のほか多くの職員が緊張した様子で見学していました。



一次トリアージ風景



二次トリアージ風景



トリアージ後治療終了の様子



## START法 トリアージ

		呼吸	循環	意識
黒	死亡			
赤		10以下/分 30以上/分	BlanchTest（爪床圧迫法） 2秒以上	応答なし
黄		11～29回/分	BlanchTest（爪床圧迫法） 2秒以内	応答あり
緑	歩行可			



## ボランティア懇親会を開催しました

平成28年12月1日（木）、ボランティア懇親会を開催しました。

当院では、来院された方々の不安や機械操作の戸惑いを少しでも和らげるように、再来受付機や自動支払機付近にボランティアの方々が活動しています。コミュニケーションを大切に、細かな情報もボランティアの方々と素早く情報共有し対応しています。

また、懇親会を年2回開催し、より良いボランティア活動ができるように活動報告や改善点などを話し合い、今後の活動に活かしています。

当院ボランティアは、長期に活動されてる方が多く、今回ボランティア活動15年を経て辞められる星野さんへ院長より感謝状が授与されました。



ボランティア懇親会風景



ボランティア星野さんへ感謝状授与